

法人第6期会長就任のご挨拶



会長 光田 憲朗*

第5期の会長を務められた須永修通前会長（東京都立大学）の後をついで、日本太陽エネルギー学会法人第6期の会長を務めさせていただきます光田憲朗（ミツダ ケンロウ）と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

太和田元会長（現名誉会長）と須永前会長の下で副会長の修業を積み、昨年度までの2年間関西支部長も務めさせていただきました。専門分野は電気化学で、1980年前後大学院で色素増感太陽電池の研究を、入社後は燃料電池（リン酸形、固体高分子形）、キャパシタ、リチウム電池、結晶系太陽電池、燃焼機器などの研究・開発に関与してきました。

本学会は、他の学会と同様、皆さんのボランティアによって支えられています。特に、理事会、各種部会、各種委員会、関西支部の皆さんには、献身的な活動を継続いただいております。感謝にたえません。この場を借りて理事会で活躍いただいている皆さんの一部を紹介させていただきます。

秋澤淳副会長（東京農工大学）は、表彰委員長として、会員の皆様全体にいきわたる【表彰制度の充実化と拡充】を図っておられます。若尾真治副会長（早稲田大学）には、昨年度新たに【夏の若手研究発表会】を立ち上げ、学生の皆さんの鍛錬と活躍の場を広げていただきました。加藤和彦副会長（産業技術総合研究所）には、本学会の【ホームページの改定】に尽力いただき、ほとんど費用をかけることなく会員の皆様に愛用いただけるホームページにリニューアルしていただきました。また、塙藤徳理事・編集委員長（森林総合研究所）は、学会誌の【特集を2テーマに増やす】など、精力的に学会誌の内容充実に取り組まれています。須永前会長には、引き続き理事に残っていただき、私の監督・指導・助言にあたってくださいととともに、【学生の皆さんに役立つ多くのコンテンツ】をホームページに掲載すべく活動されたとお聞きしています。

本学会は、太陽光発電や太陽熱利用に限らず、風力・波力、バイオマス・農業利用、光化学・電気化学、ゼロエネルギー住宅（ZEH）やゼロエネルギー

ビル（ZEB）などの建築分野、冷暖房給湯、気象・地球環境、各種実用化技術等、実に幅広い分野に加えて持続可能な社会構築に関する事項を対象としており、これら再生可能エネルギーに関連する様々な分野の会員の皆様が、本学会の活動を通じて互いの専門分野を補完することができる他に類を見ない貴重な学会です。会員の皆様には、この学会の活動を通じて、日本の再生可能エネルギーの実用化や産業化に大きく貢献いただけると確信しています。

【学生会員】の皆様には、会社に就職された後も、2年間、学生会員の年会費（個人会員の半額）で継続いただけます。また、満60歳以上の定職に就いていない個人を対象に【シニア会員】として、学生会員と同じく個人会員の半額で継続いただけるようになっています。これにより、会員の皆様には、学生時代から退職後に至るまで、末永く本学会に参画いただき、活躍いただきたいと願っております。

第6期の理事会メンバーは、監事2名を含めて33名ですが、新しく11名の方々に就任いただいております。各種委員会や各種部会などを通じて活躍いただき、近い将来、委員長や部会長などに就任いただいて、本学会をより良いものに改革いただけるものと確信しています。

会員の皆様には、本学会の会員であることに誇りをもっていただけるよう理事会メンバー共々、全力で取り組んでまいります。

事務局についても紹介させていただくと、池田祐一事務局長（元京セラ）は、頼りになる事務局長です。素晴らしい2人の女性（経理・事務担当の荒井さんと学会誌編集担当の竹井さん）にもお手伝いいただいております。

最後に、日本太陽エネルギー学会が会員の皆様と共に、ますます発展し、日本の世界の再生可能エネルギーの普及に貢献できることを祈念いたしまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。

*三菱電機株式会社